

人口 (男) 4,759 人 (女) 5,079 人 合計 9,839 人 2月中の転入 10 人 転出 14 人 世帯数 2,241 世帯 (2月末日住民登録人口調)

発行日 53・3・15(2,700) 発行 秋田県合川町役場 合川町役場 編集 企画

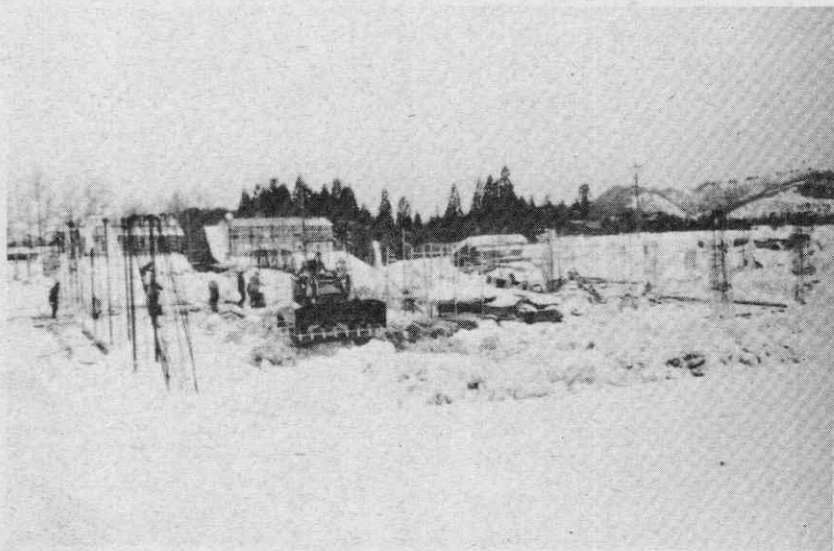
大野台グリーンハウス

九月の開設を目ざして

重度身体障害者授産施設

合川町美栄地内に建設中の重度身体障害者授産施設・大野台グリーンハウスが九月の開設を目ざして工事が急ピッチに進められており、県内でも初めての施設とあってその完成が待たれております。

大野台グリーンハウスは、オノ神信(に建設するもの社会福祉法人秋田県民生協(理事長・木村修司)が、丸山建設株式会社が工事を県内の一般社会で就職することが困難で、かつ家庭での保護が得られない身体障害者にそれぞれの能力に



冬の寒さをついて進められる工事現場

が主で目的や能力に応じて生活・作業ができるように創意工夫された施設の内容となっております。大野

子どもの手で

町をきれいに

合川町PTA連絡協議会

合川町PTA連絡協議会(会長・佐藤庫吉)では去る一月十八日教育懇談会を開催しましたが、その中で子どもの活動を育てながら地域づくりをしようという事が話されました。

この活動は子どもたちが活動をおして衛生思想をたかめるとともに地域との連けいを深めながら健全な心と公德心を育てることを主眼としており、町民のみならず積極的なご協力を呼びかけております。なお、活動の内容と方法は次のとおりです。

◇活動の内容 子どもたちの活動を通してゴミのなまきりいな町づくりをしよう。

◇活動方法 各部落ごとにクズ入れを設置して落ちていたら進んで拾いクズ入れの中へ捨てよう。

◇クズ入れの設置 オイル缶を塗装し、部落子ども会を通じて各所の依然としてつづく不況のありで、賃金は殆んど昨年並となっている。さらに事業所によって年齢制限がみられるように雇用条件は厳しいものとなっております。

現在、合川町からの出稼ぎ者はおよそ三百九名でうち六十五%が土木関係でその他は製造などが主なものとなっております。

厳しい不況の中で

望まれる健康管理と事故防止

町と町の季節労働者互助会である二月十日から十三日まで関東関西、七事業所の季節労働者の訪問を行い、激励するとともにその事情を調査しました。



厳しい中でも元気な顔で

訪問には鈴木一郎町互助会長と佐藤福社課長に福祉課と農業委員会の担当職員が四人で、訪問した事業所では今のところ、解雇、賃金不払

しかし相変わらず職安を通さなかったり、互助会へ未加入の人が全体の半数近くもおります。

また今回の訪問にあたっては、特に農家にとつては水田利用再編対策の



農業問題では真剣に……

ことあり、町の方向について説明を行い、帰省してからの対策についても真剣に話し合いがなされました。

なお、三月九日午後一時三十分から老人憩の家「ことぶき荘」で留守家

に設置する。以上のようになっておりますが特に店先では箱類、紙くず等が散在し易いので各商店のご協力と、煙草の吸いがらなど簡単に路上に捨てないように、また、ゴミをみつけたら進んでクズ入れに捨てるように、大人のみならず積極的なご協力と参加をお願いいたします。

役場新庁舎の完成によりこれまで町民のみならず大変ご不便をおかけしておりました駐車場も今後は十分にご利用できるように整備されました。

雪ができない箇所もありません。今後、庁舎の駐車場を役場や公民館の用途以外に長時間及び長期利用される方は必ず役場総務課又は

昭和五十三年度の農耕用に使用する軽油の免税証の交付を下記の日程で行いますので、必要な方は手続きされるようお知らせします。◇期日 三月二十三日、午前十時から午後三時まで。◇場所 合川町役場・第一会議室

- 庭懇談会を開き実情と伝言を報告しました。訪問した就労先は次のとおりです。北海製缶岩工場(埼玉県岩槻市) 14名 戸田建設岡工務店(群馬県尾島町) 14名 馬尾尾島町 14名 K・K 近代塗装(神奈川県座間市) 5名 木本建設(東京都足立区) 6名 キューピーK・K(愛知県豊田市) 5名 オートミケンシ(滋賀県彦根市) 5名 ソニー電子K・K(神奈川県藤沢市) 4名

町長日記から

三日一日春一番の大嵐が過ぎ去った。あとは暖雨快晴でたちまちのうちに積雪は半減した。雪解けの道はアイスパンを残して傾き、雪解けは路上にあふれた。三月五日の排雪デーの各部落の状況は雪国の春を掘りさぐる人々の群れでにぎわった。汗をかいて春を呼ぶころの祭典である。その後県道町道を問わ

農耕用 軽油の免税 警備員の許可を得て駐車して下さい。また駐車表示はきちんと守りましょう。

ず、悪路の条件を排除する作業が続いて漸く道路事情も好転した。それにしても除排雪に要する経費は公私とも大変なものだ。この苦労を知る者のみが、われら雪国の人々にとっては、なかまなかも知れない。このときは中学校、高校の卒業のときだ。若者が母校に懐しい想い出を残して巣立つてゆく。(義)

川合たみからとそ

語るにいいお身者出町

紙上座談会

町の発展に大きな力 和田

合川高校の設置と融和の恩恵



司会 本日は遠いところみなさまにお集り頂き、大変ありがとうございます。

ご承知のとおり合川町は立町以来二十余年の歳月も過ぎ、昨年は待望の役場新庁舎が完成し、さらに郷土の進展をはかっております。そこで今回は合川を離れ、合川を郷土として各方面で活躍されておられますみなさんにお集り願ひ、「そとからみた合川」と題して、おおいに語って頂くことになりましたのでよろしくお願ひします。

それでは先ず最近の「ふるさと」の印象について感じていること、考えていることからお話し願ひします。

清水さんから口火を切って頂きます。

清水 私は現在能代に住んでおり、合川の比較的近くにおりますが、職場が農

業です。この市町村でも今、道路や環境整備等で大変困っており、その点合川町は「先見の明」があり、努力されていると思ひます。

和田 私は上京して二十五年ほどになりますが、これまでの合川町の発展を考えると、何んといつても教育を主体として進められたことが大きいと思ひます。

それとお話しがありました。合川町の発展との関連ですが、合川中学校が統合し、合川高校ができたことにより、町の中での感情的な世論も消えて、考えられなくらい町全体の融和が出来たというところで、教育そのものより、教育の副産物の方で早く恩恵に欲したことは本

当にありがたいことです。しかし、依然として地元就職が少ないという問題は問題です。

町長 たしかに合川町は元来道路が悪いというのが一般的な見方をされておりましたが、現在は町村道の舗装率は全県一だと思ひます。それから、合川高校についてはいろいろな過程を経てようやくこの地域に定着し、今は県内の商業高校とも同格になりました。

創立当時は結局伝統がなく、何んで勝負するかというところでスポーツを徹底的に取り入れ、最近では全国優勝するなど各種目で目ざましい活躍をしております。

このようなスポーツクラブの振興により、不良化が他校に比べ比較的少く、これからはいよいよスポーツは勿論、学業の面でも力を入れるべく取り組んでおります。

それとお話しがありました。町の発展との関連ですが、合川中学校が統合し、合川高校ができたことにより、町の中での感情的な世論も消えて、考えられなくらい町全体の融和が出来たというところで、教育そのものより、教育の副産物の方で早く恩恵に欲したことは本

当にありがたいことです。しかし、依然として地元就職が少ないという問題は問題です。

町長 大変良いことを伺いましたが、今年の成人式でもあいなつた中で、自分の仕事をどうするかという考えについて山岡さんが話された

青年たちからも話を聞きませう。

このように激しい生活の流れの中で、苦しい状態に感じているか、あるいは、そこまでいって初めて気が付く大きなポイントに思ひます。

このようなことは婦人会の会議など、機会あるごと

に話をしていますが、あまりにも無駄な物に金をかけすぎていることです。これは、農村生活の、完全な弱点で、この弱点は社会教育をとおして、排除していかなければならぬことだと考えます。

抱擁力

齋藤 先程、清水さんからお話があったように、郷土のニュースや話題は非常に印象深く、また喜しく思ひます。

私の家では、時々学校やスポーツの話題で、合川に育った私と、秋田市で生まれ育った子供達との間で家族論争が起きます。

自分が育った頃をふり返って感じることは、ふるさととは、抱擁力が常に大きいことであると思ひます。私は、親が一番大きく見えた時期は、小学校三年生の頃で、学校から帰って小遣いをねだつた時に、たまたま母親が新しい洋服を着るうとしておりました。あまり私がうるさくねだつたことで、腹を立てた母親が、その服を脱いで、この野郎といつて追掛けて来た。その姿というものは今でも絶対忘れないでおります。また、ふるさとが大きく見えるというところは、たとえば大野台に水を引いて、

三面へ続く



積極的な姿勢で 仕事の開拓を

山岡 ただ今の就職の問題ですが、高校卒業業者や出稼ぎ者は、できるだけ地元や近くに就職したいという気持の人が多く思ひます。このようなことから行政では、地元や県内の職場の

うな相談を頂いたこともないものですから……。人口の確保は町の発展にとって大きな課題であると思ひます。

それと最近の若い人達の仕事に対する考え方についてですが、新しい仕事の開拓という点で、どうも積極的な姿勢が感じられないこと

不況で仕事や職場がないと言うことはよく耳にしますが、やろうと思ひます。い

町長 大変良いことを伺いましたが、今年の成人式でもあいなつた中で、自分の仕事をどうするかという考えについて山岡さんが話された

青年たちからも話を聞きませう。



派手すぎる農村生活 佐藤

司会 ふるさとに対する印象を含めて大変意義のある話をうかがいましたが、次に佐藤さんと齋藤さんから願ひします。

佐藤 私は東京に出てから四十年になりますが、当時の農村の生活力と、現在では大変な成長だと思ひます。これは日本の農村全体のこ

でもありますが、特にその中でもこの合川は高い方だと思ひます。

当時の合川の生活力は、鷹巣と東京の差よりも、鷹巣と合川との差が大きかつたように感じますし、それだけ純農家の生活能力が低かつたと思ひます。

しかし、住宅や家庭用品も、いまは農家の方がむしろ充実されているように感じます。

特に合川の冠婚葬祭は大変派手で、いろいろ考えさせられます。

町長 たしかに消費生活的なレベルが、非常に高いというところを、よく就職した青年たちからも話を聞きませう。

このようなことは婦人会の会議など、機会あるごと

て来るように思ひます。自ら選ぶという気持、そこで、自分で何かをやつて、生活とどうむすびつけていくかという選択の時期だと思ひます。自分の意志で生活をつくるということは、最近の青年は弱いといわれ、このことは大人の出稼ぎ先の選択にも通じていること

で、自分で選ぶということよりも、他人の話で判断する場面が多く、後で問題が出てくる要因にもなること

です。

どうしたことが、よその農村に行くと感じますが、合川やこの付近は食物の質や分量が全然違うことで、何にかの食い倒れかどうか知りませんが(笑)とつてもなくせたくに思ひます。論争が起きます。

自分が育った頃をふり返って感じることは、ふるさととは、抱擁力が常に大きいことであると思ひます。私は、親が一番大きく見えた時期は、小学校三年生の頃で、学校から帰って小遣いをねだつた時に、たまたま母親が新しい洋服を着るうとしておりました。あまり私がうるさくねだつたことで、腹を立てた母親が、その服を脱いで、この野郎といつて追掛けて来た。その姿というものは今でも絶対忘れないでおります。また、ふるさとが大きく見えるというところは、たとえば大野台に水を引いて、

三面へ続く

二面より

田んぼをつくるのか、子どもに抱いた空想や、アイデアというものと、地域や集団を通じて自から経験したことが、集った時に、常に楽しく、すなおに共通話題として出てくること、これがやはり大きく見える要素であると思います。

町長 今のようないふことは、私も考えておりますが、ふるさととは父母とか、山や川で代表的なものであります。更に大事なことは、日常忘れさせているもので、たとえば、まず生れて一番先に、這って行ってアガリツバ(上がり端)から落ちて痛い泣く、何回も繰り返しているうちに落ちないようになる。

このような体験は、普段忘れていたことですが、頭脳の中に瞬間的に甦らせることができる身の安全、心の安全で、このようなふるさとの抱擁力が、数えきれないほど、たくさんあると思います。それがふるさとという安心感につながっていることで、このようなことを忘れていたことが、あまりにも多くなっていることを感じます。

消えゆく文化の匂い

司会 ふるさとについて、それぞれの体験をとおして、貴重なお話をうかがいました。たが、いま齋藤さんからは、子供の頃のお話がありました。含めた思い出をお話してください。

清水 テレビで合川と火をみました。特に車まとい、大変感銘しました。それと私が高校の時に、今の阿仁合線が開通しまして、一年だけ汽車通学したことです。



「ふるさと合川、象徴大野台は町の将来でもある。」

火は、自分の子供時代を思い、大変感銘しました。それに私が高校の時に、今の阿仁合線が開通しまして、一年だけ汽車通学したことです。山岡 私は小学校が鎌沢で、当時から山奥に生れたというところから、駅に近い生徒と比べて頭が悪いという劣等感があり、そうしたことから、何か一つでも負けたくないという気持ちが、常にありましたし、今でも仕事の面でそういうことが、

清水 どうしてでしょうか。本場に学校や地域ごとに集団で歩かないと、恐しかったですね。町長 当時は大人は大人で、草刈場や田の水の問題でよく争いがありましたから、子供の場面もそんなところからきていると思います。山岡 教科書は、先輩から譲りうけて使いましたが、ほとんど字句が分らないものもありました。和田 昔は、木戸石や李岱には、文化の匂いがあった

生きていくように思います。町長 まと火は年々参観者も増えて、町の観光行事として、ようやく定着しました。それと当時私たちは、李岱から教科書を買ったのですが、途中でよく川井の生徒にいじめられて、恐くて戻ってきた記憶があります。佐藤 特に夏の水泳シーズンになると、阿仁川を境にしてよくやりましたね。齋藤 上杉と新田目は子供の石合戦でした。

と、形が違って行くことは、自然の成り行きでやむを得ないことだと思えます。執着心は変化があるからこそ、生まれるものだと思います。山岡 東京に阿仁川会という会があると聞きましたが、簡単に紹介してください。和田 阿仁川会は、上杉出身の工藤美代松さんという方が会の代表で、今日出席の佐藤さんが女房役で、毎

年、お正月の十五日に集まって、ふるさとを語りながら盛會に開かれています。今年も町長さんに出席頂きましてが参加者は約五十人から六十人で、若い方も多く参加しています。山岡 そういえば、こんど集まる時には、ふるさとの合川町民歌を是非みんなで歌ってみたいという話がありました。

含めて、総合的な構想の中で進められていますが、社会的な変化により、期待どおりでないものや、さらに模索中のものもあります。その中で、福祉施設は、施設を中心として、かなり充実されました。今後は計画のしめくりとして、この福祉団地を網羅して、実習を重点とした国立、もしくは県立の福祉研修施設の誘致を検討しています。

また、子供の時代から大野台の景色を見て生きてきたので、開発をしないでこのままの方がよいという人もまだ多くあります。町長 たしかに町の発展を急ぐために、豊かな自然や文化、歴史がふるさとから消えるということは、大変惜しい気がします。この辺がまた非常にむずかしいところですね。

奉仕ができればと思います。それがまた自分のために返ってくることもつながります。ふるさとである合川町については、特にその気持が強い訳ですので、町づくりのためにお手伝いできるようなことがあれば、進んで協力したいと思えます。

和田 そのことは私も日頃から考えておりますし、みなさんもそうだと思います。清水 それと今回、ふるさとをなれている我々をよんで、このような座談会を開いて下さったことは、初めてとうけたまわりました。大変結構な企画だと思います。今後もこうした機会をあたえて下さると同時に、できるだけ多く参加されるよう、私もからも呼びかけますのでよろしくお祈りいたします。

大野台開発 農業を主体に——清水 文教面の活用を——和田 自然や特色を生して 体験的な実習の場に

司会 思いもつきないようですが、次にふるさとの代表的な象徴である大野台は、また、町の将来でもありま

大野台の開発と、今後の方向についてご意見をお願いします。

清水 農業人として、合川は純農村であり、農業は面積、規模が基礎で、また近代化が進む現代でありますから、複合経営の確立、出稼ぎ問題を含めて、なんとしても農業主体の開発を考

私も仕事の関係から申しあげれば、何んとしても文教面の活用、開発を進めてほしいものです。現代の大都市における教育に對話のない、非常に不自然なことからしても、全国の若者が自然に恵まれた教育を、一年でも二年でもこの合川で出来るならば、けっしてエゴ的な人間は出来な

和田 それに住民のみならず、土地に対する大きな愛着もあり、逆にそれが壁になっていると思えます。特に農業主体制とすることからしても、それ以外の面で、大野台を開放するということは、大変に

司会 今日は大変貴重なご意見を頂きありがとうございます。時間的に余裕がなく、充分な話し合いができなかったと思えますが、今後とも「ふるさと合川」づくりのためにご提言をお願いします。みなさまのご健康をお祈り申し上げます。



私も仕事の関係から申しあげれば、何んとしても文教面の活用、開発を進めてほしいものです。現代の大都市における教育に對話のない、非常に不自然なことからしても、全国の若者が自然に恵まれた教育を、一年でも二年でもこの合川で出来るならば、けっしてエゴ的な人間は出来な

和田 それに住民のみならず、土地に対する大きな愛着もあり、逆にそれが壁になっていると思えます。特に農業主体制とすることからしても、それ以外の面で、大野台を開放するということは、大変に

司会 今日は大変貴重なご意見を頂きありがとうございます。時間的に余裕がなく、充分な話し合いができなかったと思えますが、今後とも「ふるさと合川」づくりのためにご提言をお願いします。みなさまのご健康をお祈り申し上げます。

司会 今日は大変貴重なご意見を頂きありがとうございます。時間的に余裕がなく、充分な話し合いができなかったと思えますが、今後とも「ふるさと合川」づくりのためにご提言をお願いします。みなさまのご健康をお祈り申し上げます。

奉仕のこころで ふるさとづくり

山岡 私も自分なりに仕事と職場をとおして、その町や地域に対して、少しでも

きれいな町

きれいな町

成人男子「ろばた講座」を開設

九〇名参加し真剣に意見かわす

公民館では、かねてから成人男子(三十才〜六十才未満)向講座を企画し、高度経済成長時代から低成長時代への厳しい社会情勢の中で、日頃忙しいお父さんを対象にじっくり学習をしていただき、これからの地域社会がどうあればよいか、などを中心に三回にわたり名づけて「ろばた講座」を開設し、九十名余の成人男子が参加し熱心に学習を行いました。

第一回目は二月二十五日(土)午後一時三十分より役場大会議室で開かれ、テーマ「これからの私たちの暮らし」について、秋田魁新報社編集委員・藤川浄之先生の講話ですが以下その要旨を紹介いたします。

「私たちの身近なところから起っている共通の問題をとらえ、これからの私たちの暮らしはどうあればよいかを考えてみたい。」

その一つに子供の非行の問題があります。具体的には、高校生(中学生も含む)の不純異性交遊さらには、売春行為は連日のように新聞、テレビ等で報道されま



真剣に話し合いが行なわれたろばた講座

このような緊急事態、異常事態はどうして起ったのか、この背景には何があるのか、又、この子供たちが成長する時代はどうあったのか、そのことを考えなしには、これからの私たちの暮らしを論ずる訳にはい

けない。子供たちの育った時代昭和三十六年(三十七年頃)は丁度高度経済成長時代であり、農業基本法の制定された時代でもあり、言ってみれば農業の近代化、合理化が進められ、就労婦人の問題が一躍クローズアップされ、金、経済が優先され、人間らしいふれ合いが失われていた時でもあります。自然、土地を主体とした農業が社会と共に誕生し、一つの共同体として発達してきたが、この近代化、合理化によって、共同体としての絆を失う大きな原因となつたと同時に、経済万能時代に育つた子供たちは、集団としてのモラル・ルール・基本的な素質を失つてしまつたといえる。

このことは、ただ単に子供たちだけのいわゆる現象ではなく、大人社会に直面している極めて日常的な問題を私たち大人社会に訴えて

ばよいか、地域社会はどういうものかを答えていかなければならない。水田再編問題にしても、現在は国・県・町そして部落(基本的には個人)へ割り当てられているが、私たち一人一人ではどうにもならない時代に、この問題を部落単位(集落単位)で

考えて行く、いわゆる自主防衛がこれからの私たちの生活を築いて行く最大のテーマであると思う。」

講話のあと、△増加する青少年の非行など教育問題 △激変する農村生活にどう対応すればよいかーなど地域や家庭で中核となつて

いる大人の立場から熱心な意見が交わされました。又、「国の三全総では、もはや大都市集中時代の営みは終り、地方の時だ、とするならば、その転換期を乗り切るには、地域社会の自主制・国民の一人一人の自由、創造的な活動である」

このことは、今、私たちが住んでいるそこから日本の足場が築かれていくので、そのことを私たちの側住

民)から、日本がどうあれ期待してました。

このあと、受講生の意見を取り入れ、誰でも気軽に参加できる講座にするために、次の方を運営委員として選出しました。

△亀谷 健樹(上杉) △吉田 正一郎(川井) △藤岡 秀雄(羽立) △金田 忠雄(西根田) △成田 誠治(大内沢) △鈴木 五郎(鎌沢) △畠山 誠一郎(木戸石)の七名ですが、今後の自主的な運営が大いに期待されます。

いづれも講師のお話を一時間程度、受講生と講師との話し合い(質疑)が一時の間程度行われます。どんな小さなことでも結構です。何か一つでも話し合いに参加して下さい。

大変ご多忙のこととは存じますが、「お父さん」の方でも結構ですので、二時間か三時間公民館へおまかせ下さい。

ろばた講座では、今回の開設して行く予定です。昭和五十三年度は十一月から三月まで計五回の予定で開設します。参加されたみなさんの感想やご意見をどうしお寄せ下さい。

係から「ろばた通信」を発行予定でしたが、この広報をもって通信の発行にかえさせていただきます。ご意見をお願いします。

昭和三十四年に国民年金制度が発足して皆年金時代にはいって今年で十八年目を迎えます。現在、国民年金に加入している人は全国で二千六百九十七万人(合川町は三千二百一人)、また、年金を受けている人は、老齢年金、通算老齢年金、障害年金、母子(準母

子)年金、遺児年金、寡婦年金をあわせると四百九十八人(合川町は八百九十八人)にもおよんでいます。このように、国民年金は多くの人の支えになってい

◇国民年金に加入する人◇

香典返しにかえて二万円、○成田秀夫(李倍)、父・竹之助さんの香典返しにかえて一万円、○佐藤作治(東根田)、妻・キヨさんの香典返しにかえて二万円、○桜井政雄(下杉)、父・政五郎さんの香典返しにかえて二万円、○三沢栄治(木戸石)、母・キヨさんの香典返しにかえて三万円、○梅田長助(羽根山)、弟・長四郎さんの香典返しにかえて二万円、○松橋豊常(道城)、父・豊吉さんの香典返しにかえて一万円、○松岡清治(駅前)、母・トクさんの香典返しにかえて二万円、○平川忠夫(李倍)、父・耕造さんの香典返しにかえて三万円、○松岡運吉(羽根山)、二女・勝子さんとみ・喜代美長女(増沢)、三浦昌幸・文幸長男(駅前)、桜井正樹・富男長男(駅前)、藤島香織・武夫二女(木戸石)、松岡明美・知吉長女(羽根山)、工藤信仁・栄一長男(上杉)、三浦幸則・欽一(二男)(三木田)、福岡美子・四郎七女(三里)、関美智子・哲男長女(上杉)、金田玲子・一男長女(摩当)、後藤育子・長雄長女(下杉)、藤島正則・米造二男(木戸石)、伊藤弓子・米弘長女

当然加入者(必ず加入しなければならない人) 農業や漁業、商業などの自営業や自由業の人とその家族で、厚生年金や共済組合などほかの年金制度に加入していない二十才から五十九才までの人は必ず加入しなければなりません。任意加入者(希望で加入できる人) サラリーマンの奥さん、恩給、遺族年金を受けている人とその奥さん、昼間部

慶弔日より 自・十一月 一日 至・一月三十一日

○おめでとうご健康をお祈りいたします。

齊藤香奈恵・久長女(新田目)、加藤和子・三郎長女(鎌沢)、柴田葉子・雅夫長女(弥栄)、桜田真由美・仁長女(東根田)、成田登代志・勉長男(李倍)、平川淳子・堅一(二女)(李倍)、藤田勇・勝信二男(八幡倍)、芳賀豊明・泰志二男(桃栄)、桜井一成・博長男(駅前)、齊藤利樹・隆一長男(新田目)、坂上千佳子・満二女(上杉)、三浦武・利正長男(三木田)、桜井公子・鉄男長女(下杉)、安部ひとみ・喜代美長女(増沢)、三浦昌幸・文幸長男(駅前)、桜井正樹・富男長男(駅前)、藤島香織・武夫二女(木戸石)、松岡明美・知吉長女(羽根山)、工藤信仁・栄一長男(上杉)、三浦幸則・欽一(二男)(三木田)、福岡美子・四郎七女(三里)、関美智子・哲男長女(上杉)、金田玲子・一男長女(摩当)、後藤育子・長雄長女(下杉)、藤島正則・米造二男(木戸石)、伊藤弓子・米弘長女

ろばた講座「これからのお知らせ」

◎期日 三月二十五日(土) 午後一時三十分

◎会場 役場大会議室

◎内容 町政を学ぶー町政の現状と将来的展望について

◎講師 畠山町長

集會 時間を 守り ましょう

香典返しにかえて二万円、○成田秀夫(李倍)、父・竹之助さんの香典返しにかえて一万円、○佐藤作治(東根田)、妻・キヨさんの香典返しにかえて二万円、○桜井政雄(下杉)、父・政五郎さんの香典返しにかえて二万円、○三沢栄治(木戸石)、母・キヨさんの香典返しにかえて三万円、○梅田長助(羽根山)、弟・長四郎さんの香典返しにかえて二万円、○松橋豊常(道城)、父・豊吉さんの香典返しにかえて一万円、○松岡清治(駅前)、母・トクさんの香典返しにかえて二万円、○平川忠夫(李倍)、父・耕造さんの香典返しにかえて三万円、○松岡運吉(羽根山)、二女・勝子さんとみ・喜代美長女(増沢)、三浦昌幸・文幸長男(駅前)、桜井正樹・富男長男(駅前)、藤島香織・武夫二女(木戸石)、松岡明美・知吉長女(羽根山)、工藤信仁・栄一長男(上杉)、三浦幸則・欽一(二男)(三木田)、福岡美子・四郎七女(三里)、関美智子・哲男長女(上杉)、金田玲子・一男長女(摩当)、後藤育子・長雄長女(下杉)、藤島正則・米造二男(木戸石)、伊藤弓子・米弘長女

国民年金保険料は四月から二千七百三十円になります。

国民年金保険料は四月から二千七百三十円になります。